
タンザニア イロンガ母子福祉センター拡充プロジェクト
活動実績概要

JICA LIBRARY



1208363 [0]

JOCV 派遣三課



平成7年8月1日

【タンザニア】

プロジェクト概要

1. プロジェクト名 : イロンガ母子福祉センター拡充プロジェクト
Mother and child welfare promotion programme in Kilosa
2. ミツ署名日 : 1992年2月10日
3. 協力期間 : 1992年3月1日から1997年2月28日まで (5年間)
4. 所在地 : タンザニア連合共和国モロゴロ州キロサ郡イロンガ
5. 先方実施機関 : 労働青年開発省 (Ministry of Labour and Youth Development)
6. 要請の背景
1975年オランダの協力により設立された「イロンガ母子福祉センター」に1988年最初の保健婦隊員が派遣されたが、センター内での栄養失調改善、衛生教育では十分効果を上げ得ないので、周辺地域5カ村を対象に、総合的に地域住民の衛生・栄養改善をはかるべく、チーム派遣の要請が出された。
7. 目的
 - (1) プロジェクト地域での重度栄養失調児率の減少
 - (2) 既存の施設と村落住民参加の統合活用による地域保健、栄養状態の改善
 - (3) 村落住民への母子保健、栄養、家政面知識の啓発活動
8. 協力内容
 - (1) イロンガ母子福祉センター活動の拡充
 - (2) センター職員への技術指導、助言
 - (3) 村落住民への保健・栄養教育
 - (4) 隊員活動支援機材供与
 - (5) プロジェクト活動のモニタリングと評価の支援
9. 現状・目標達成
栄養リハビリテーションセンターでの治療および母子指導が軌道にのっている。
各拠点地域での栄養改善デモンストレーションおよび保健衛生教育を中心に、村落環境整備など村落レベルでの活動に重点を移している。
食糧確保が不十分な村落住民に対し、自給できるよう食物栽培指導を行っている。
蛋白質源および収入源となるよう、庭先養鶏と大豆栽培を奨励している。
一般隊員5人で活動していたが、平成6年6月シニア隊員1名を派遣、チームと関係機関との折衝等に当たりながら、関係機関との関係を深め、広報・宣伝が可能になった。
10. 問題点
夕側の予算不足が深刻で、日本側の経費が活動には欠かせなくなっている。
11. 対処方針
隊員現地業務費をプロジェクト活動経費に充当している。
12. 派遣済隊員の職種 (数)
保健婦 (4)、野菜 (3)、栄養士 (2)、村落開発普及員 (1)、シニア (1)

13. 協力実績

隊次	1991年度	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	
プロジェクト期間									
								'97.2.28	
2・1	保健婦	—————		'93.3 (帰国)					
3・1	野菜	—————		'93.7 (帰国)					
3・2	栄養士	—————		'93.12 (帰国)					
4・2	保健婦	—————		'94.6 (帰国)					
4・2	野菜	—————		'94.12	—————	'95.12			
5・1	栄養士	—————		'95.7	—————	'96.7			
5・3	保健婦	—————		'96.4					
5・3	村落開発	—————		'96.4					
6・1	保健婦	—————		'96.7					
6	シニア	—————		'96.5					
7・1	野菜	—————		'97.7					
特別機材供与	本邦購送 4,619,520円 現地購入 3,282,138円	本邦購送 7,445,120円	本邦購送 4,238,900円	本邦購送 1,234,000円 現地購入 895,579円					
現地業務費	チーム 3,114,711円 事務所 533,333円	チーム 2,180,000円 事務所 1,320,000円	チーム 2,900,000円 事務所 600,000円	チーム 6,732,421円 事務所 1,000,000円					

14. 他の経済協力との関係

UNICEF関与の健康デー活動に協力
フロントライン計画の対象地域に指定されている。

15. 評価

16. 調査団

1992年2月事前調査団 (団長 大峯保広: 協力隊事務局派遣第二課長代理)
1993年6月巡回指導調査団 (団長 岡本暁: 愛育会病院小児科部長)
1994年9月中間評価調査団 (団長 関口洋史: 協力隊事務局派遣第三課長担当)



チーム派遣プロジェクト活動実績概要 (平成6年度第4四半期)

様式 2

国名(タンザニア), プロジェクト名(ルンガ母子福祉センター 拡充プロジェクト)

NO. 1

協力活動概要	成果	問題点		評価	対応策
		協力隊側	相手国側		
1. 栄養失調児の臨床検査(H7.1)と治療薬配布(H7.2) ・各村において、血球、尿、便の検査を行い、その結果に基づき、薬を配布した。 ・プロジェクトエリア5ヶ村、13ヶ所で実施。	- 検査児数 : 780名 尿異常者 : 178名 便 " : 182名 マラリア陽性 : 358名 貧血 : 77名 (延べ人数) - 寄生虫駆除薬等、ほぼ全員に薬剤を配布。	- 薬剤必要量の計算が不十分で、薬の準備時期、量が計画通りゆかなかった。 - 現地スタッフの主体性を保つた。いかに指導すべきか。 - 検査項目が多く、時間がかかりすぎた。	- 細部の計画が甘く、検査の流れ、薬配布の仕方等、活動開始時には必ず混乱する。 - 具体的な計画、必要資材の提供でやるべきことが定まれば、主体的に活動できる。	- 事業計画立案時の協議を細部までつめこみ。 - 検査等の手順の試行と確認。 - 検査項目を寄生虫のみにしぼる。	
2. 栄養バランス食の村への提供拡大	- バランス食は"LEA MTOTO (to bring up child)"と命名。 - 地域拡大により、栄養失調児家庭より好評。	- 対象地域拡大により、支出と労力が増大	- バランス食に因りるコスト負担が大きい。	- 機械導入により労力軽減を図る。 - バランス食のための資金作りの方策を検討。	
3. 栄養士スタッフの研修 1月. Trian (モロコシ州) 2月. Tabora (タボラ州) 2地区のバランス食活動を視察。	- 他組織との交流、同様な活動を視察し、アイデアが得られるとともに、運営方法の参考となる。	- 研修手当等の支出が大きい。	- 研修費の負担が大きい。 - 研修先を主体的に探せぬ。 - 活動が活発となる。	- 情報の提供。	
4. ワーキングホリデー参加見表彰 ・健康デーにて、ワーキングホリデーで栄養改善を果した母子を表彰。	- ワーキングホリデー参加率が高まる。	- 栄養改善ボランティアが活発になる。 - 栄養改善ボランティアの募集不足。	- 再度、養成セミナーを開催し、ボランティアを募集。		
5. 健康デー(3月) ・体重測定 ・健康教育-寄生虫と水	- 進行がスムーズになる。 - 教育活動が行われるようになる。	- スタッフはデータ集収を任せながら、項目をけずりこした、打合せ不足であった。	- 村役員の栄養失調児に対する関心かうすい。	- 村役員対象のセミナーにより啓発。 - 各健康デーで、十分な準備を行う。	

協力活動概要	成果	問題点		評価	対応策
		協力隊側	相手国側		
<p>6. NURU看護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション勤務(保健婦1名) ・薬品管理. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーションに入りこむことで、NURUの問題点、ナース座の問題点が見えてきた。 ・薬品管理ノートの記入を指導しているが、管理されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤・休日出勤、代休などで、他の隊員と顔を合わせる時間が激減。 ・NURU内に住んでいるため、勤務時間外でも呼び出される。 ・薬品庫のカギを隊員が持っているため、薬品の在庫状況がチェックできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナースがNURU内に住んでいる隊員をあとにし、勤務時間内でもNURUにいないことがある。 ・センタースタッフに薬が流れていることが多く、使用した際には在庫がない場合が多い。 ・スタッフに管理をまかせるのは無理か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤明けは朝のミーティングには出席。 ・薬品庫の管理について再度検討 ・当面、必要な分だけ、その都度購入 	
<p>7. NURU食材供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨季一般作 トウモロコシ、ダイズ、インゲン 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育やや不良 ・ダイズは、今年度普及用に採種栽培継続中。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食材料提供はセンター運営面で有効。 ・大豆普及は栄養面で有効なので継続を望む。 		
<p>8. 村落耕作援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロカ小学校の給食用食材自給のための耕作援助 ・労力面、収穫物面、次期作準備に於いて事前計画の立案を指導。 ・近所見家庭の雨季作援助 ・一般作物(トウモロコシ、豆類) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きあたりばりでない計画的運営が意識され、なに何をしなければいけないか考えさせることができた。 ・生育やや不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種子のみ、不足分を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の実習になり、好評 ・土地・労力は自家提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今期作の収穫の中、次期作の準備をする。 	

国名(タンザニア)

プロジェクト名(ロニガ母子福祉センター
拡充プロジェクト)

NO. 3

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>9. 小規模養鶏の奨励</p> <p>・養鶏場視察と旧鶏舎改修</p>	<p>・鶏舎のモデル、飼料、管理方法等について知識修得できた。</p>	<p>・養鶏に関しては素人の隊員にとり、視察研修は参考となる。</p> <p>・鶏舎改修工事の資材に関する知識不足で、工期、予算が計画通りゆかず、養鶏開始が新年度にずれ込む。</p>	<p>・スタッフが、実際に養鶏場を見ることで、自分直にもできるという気持ちになり、その後の計画、鶏舎改修がスムーズに進行。</p> <p>・改修業者、スタッフの見積りが甘く、工期、予算が計画通りゆかない。</p>	<p>・JOCT養鶏隊員による短期指導。</p> <p>・業者、スタッフとの打合せを毎日行っている。</p>

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>1. 栄養失調児を早期発見する</p> <p>1) 健康データ収集</p> <p>2. NURU 収容児に適切な診断・治療・栄養指導を行う。</p> <p>1) 栄養バランス食の供給。</p> <p>2) 臨床検査準備実施。</p> <p>3) 供給用作物栽培 雨期作 乾期作 果樹管理</p> <p>3. NURU 収容児家庭の生活改善を指導する。</p> <p>1) 入所児家庭背景調査</p> <p>2) 退所児家庭フォローアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1) 地域、計1550名の体重データ収集。 必要データの検算をスタッフ、JICA合同で行い、相方同意のもと、項目を決定。 5才未満児の登録簿が、乳幼児数も調査。 入所児数: 22名。 退所児数: 9 死亡児数: 8 逃亡児数: 4 (食材援助を休止) 臨床検査用に、NURUの一室を改装。 トウモロコシ、インゲン栽培管理継続中。 トマト、アマニナス定地耕起 除草 6月1日開始、7名に5kg以上。 未婚の母: 4名、10歳: 2名、男子: 2名。 7歳-7歳対象児 21人中、12名: 良好、4名: 死亡、7名: 不明 	<ul style="list-style-type: none"> 個々により、必要とするデータが異なる。 メンバーとしての援助に違和感。 栄養失調児は7歳までの理解が不十分。 栄養バランスのとれた食事は定着した。 知識不足のため、担当者の補助が足りない。 家庭状況の客観的評価が難しい。 地域が遠く、交通の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来使っていた項目が、JICAが作るものとの批判がある。 登録簿の整理が不備、5才以上、死亡児などの消し忘れ。 毎日の仕事の負担が、スタッフばかり、バラツキがある。 医師助手、ナース、母親連の問題、心配を聴きとれなかった。 食材・日用品購入量が必要量と異なるなど不明点が多い。 臨床検査を担当する医師助手の稼働で、担当者不在となる。 看護スタッフが、メンバー、手当の肉俵で、村に出せない。 NURUで学んだ離乳食の作り方が、役に立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集データの集計を迅速に行い、結果の還元をタイムリーに行う。 検索項目の変更を、担当者との協議。 日課表を作成。 症例研究をナースと共に行う。 当分の間、センター予算内の運営にまかせる。 NURU内での臨床検査実施に向けて再度検討する。 人材の補充をセンターに要請する。 結果を公表する。 7歳-7歳の対象者を再考する。

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>3. 3) 営農援助 ・乾胡野菜</p> <p>4) 大豆栽培を普及する。 ・採種栽培。</p> <p>4. 7-デレグ・ホストを定着させる。 1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する。</p> <p>3) 参加意欲増進対策。</p> <p>5. 健康・栄養教育, 啓発活動強化する。</p> <p>6. 1) 教育機会を確保する。 ① 健康デー/一般教育。</p> <p>② 予防接種日/離乳教育。</p>	<p>・事前調査。 ・準備の完了した家庭が、種子配布など開始(現在6戸)</p> <p>・栽培管理継続中。</p> <p>・9ヶ所にて実施。 ・食品成分分析をソコバ農業大学に依頼。 ・7地域 76袋供給。</p> <p>・体重回復児19名と表彰。 ・月以前の参加率44%, 4月参加率65%に増加。</p> <p>・「食料の貯蔵」をテーマに、スタッフ12名で行われた。</p> <p>・5ヶ村のMCHにて、調理実習および講習会を実施。 ・興味を示す母親が多かった。</p>	<p>・対象家庭選抜の為の追跡調査に、予想外の時間を要す。</p> <p>・労力、コストがかかる。 ・アマランスは、成分的に期待するものが少ない。</p> <p>・スタッフ、JOLVの意見統一が遅かった。</p> <p>・対象が、乳児を母母親なので興味を示す者が多い。 ・ポスターは、言葉、グラフが多くわかりにくい。 ・予防接種対象児は、離乳前対離乳中の者が多く、実施機会の設定は当を得ていた。</p>	<p>・他業務のため、スタッフが頻繁に巡回できない。</p> <p>・分析結果が信頼できない。</p> <p>・スタッフに教育内容の原案作成をまかせることかでき、従来の数量が作っていたことと比べ、前進。 ・準備が遅い、視覚教材の準備が出来なかった。 ・村ごとの準備が不十分であった。</p>	<p>・対象家庭を厳選し、数を減らす。</p> <p>・再度分析を依頼する。 ・材料を変え、コストダウンと機械化を図る。</p> <p>・教育テーマの決定を早くする。</p> <p>・ポスターを、絵中心のものに換える。 ・MCHへの事前連絡を徹底する。</p>

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>6.1) ③ NURU/総合教育.</p> <p>2) 映画会. ・フィルム選定.</p> <p>7. 小規模養鶏を奨励する. 1). セツ-内は拠点を作ら ・鶏舎改修. ・備品準備. ・養鶏開始.</p> <p>8. ティンケアセツ-活動を活発にする. 2). 給食用作物制作指導.</p>	<p>・テーマ「栄養のとり方」 「家族計画」 「家でのファーストエイド」 「寄生虫病について」 「栄養失調について」 「粉食の作り方」 と、入所期間中、1回毎に実施した。</p> <p>・人口教育促進プロジェクト(ケニア)製作 「A Small Family For Better Living」 「Mother's Health & Child Care」 「Male Motivation」 「Family Life Education」 「Youth Counselling」 のスタッフの語版を選定。</p> <p>・5月末完成。(2飼育室+1倉庫)</p> <p>・JOCV 養鶏隊員(3年度3名、4年度1名)を招き、スタッフ、隊員とも、備品おける飼育について研修する。</p> <p>・準備不足で、雨期作は、断念。</p>	<p>・入所時期により、教育内容が異なる。</p> <p>・ビデオソフトは、新しいものが多く、選定が容易。</p> <p>・見積りが甘く、日数予算とも当初計画を上回った。</p>	<p>・材料調達を積極的に行ってくれた。</p> <p>・スタッフも刺激され、個人的に養鶏と接する者が増えた。</p> <p>・労力不足、資金不足 ・全て、他に頼らなくてはならない。</p>	<p>・テーマ数を4つに統合し、4回で完結するようにする。</p> <p>・業者選定を慎重に行う。</p> <p>・乾期作は、小面積で行う。</p>

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>9. 職員研修</p> <p>10. 活動を評価する 1) 健康データの分析 (6月)</p> <p>11. 業務調整 1) 連絡調整 2) 各種報告</p> <p>4) 現地業務管理</p> <p>6) 70以上の計画教材申請</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医師助手, ナース, 保健婦隊員で, Moshi の Furuna 病院, UMATI の見学研修を実施. Furuna 病院... 経口補水液の指導 UMATI... 組織作り, 2カ月, 定数計画. スタッフのチームワークがよくなる. <ul style="list-style-type: none"> 標準体重 80% 以上 49.1% 80% 未満 60% 以上 46.5% 60% 未満 4.4% 重症栄養失調が 6月-12月 全例に発生する. <ul style="list-style-type: none"> 1/2 研修計画書の協議作成 H6年度 第4四半期活動概要報告. H7年度活動計画概要 教材利用状況. H6年度会計報告. <ul style="list-style-type: none"> 歳入 5,327,468 Tsk. 歳出 4,753,182 Tsk. (6月28日現在). 繰越 574,286 Tsk. <ul style="list-style-type: none"> H7年度申請教材を遂行. 	<ul style="list-style-type: none"> 国内の良い医療, 看護, 地域保健活動の状況が視察で参考となる. <ul style="list-style-type: none"> パソコン導入により, データ集計が迅速, 詳細に行える. 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の情報が少ないナース連には, よい刺激となり, NURU の看護データ整理の方法を考え直すよい機会とした. ナース達は, 知識, 経験はあるが, 十分活かせていないようである. 統計計算が出来ないスタッフが多数. <ul style="list-style-type: none"> 前年度分教材の状況が不明な時点での, 近頃教材の遂行に難色を示す. 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容の反省と, NURU 活動への参考とする. 基本統計量の算出により, 研修を推奨. 計画立案時期を早める. 前年度分教材の状況により, 回答待ち.

国名(タンザニア), プロジェクト名(ロ2が母子福祉センター
拡充プロジェクト)

NO. 1-1

年間目標	第 / 四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費		
予防活動の確立 回復促進活動の充実と	1. 栄養失調児を早期発見する り健康データの収集 2. NURU 収容児に適確な診断・ 治療・栄養指導を行う 1) 栄養バランス食の供給 2) 臨床検査準備・実施 3) 供給用作物栽培 ・雨季作 ・乾季作① ・乾季作② ・果樹管理 ・果樹改植 3. NURU 退所見家庭の生活改 善を指導する 1) 入所見家庭背景調査 2) 退所見家庭フォローアップ			—				—						物品購入(事務)	10,000	10,000	10,000	
														旅費(村巡回)	30,000	30,000		
															食材費(NURU)	70,000	70,000	30,000
														医療用品(NURU)	20,000	20,000		
														人件費(農業)	10,000	10,000		
														資材費(農業)				
															物品購入(事務)	2,500	2,500	5,000
														旅費(村巡回)	20,000	20,000		
															合計	円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は-----で表示すること。

国名(タンザニア)、プロジェクト名(イロンガ母子福祉センター
拡充プロジェクト)

年間目標	第 / 四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	3. 3) 営農援助 ・雨季一般作物の② ・乾季野菜の② 4) 大豆栽培を普及する ・採種栽培 ・栽培指導													資材費(農業) 旅費(村巡回)	2,500	2,500	
	4. フィーディング・ホストを定着させる 1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する 2) 栄養改善委員の養成・再教育 3) 参加意欲増進対策・報償品贈与 4) 集会所建設・準備 ・着工													人件費(農業)	5,000	5,000	
	5. 寄生虫を駆除する 1) 検査会の開催 2) 駆除薬投与													物品購入(事務) 旅費(村巡回) 食材費(村巡回) 物品購入(事務) 人件費(村巡回) 物品購入(村巡回) 旅費(村巡回) 建設費(集会所)	2,500 25,000 25,000 10,000	2,500 25,000 25,000 10,000	5,000
														旅費(村巡回) 旅費(村巡回) 物品購入(村巡回)			
														合計	円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

国名(タンザニア), プロジェクト名(ロンガ母子福祉センター 拡充プロジェクト)

年間目標	第 / 四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	6. 健康・栄養教育、啓発活動を強化する。 1) 教育機会を確保する ① 健康デー 一般教育 ② 予防種接種 離乳教育 ③ NURU 総合教育 ④ 小学校 衛生・家族計画教育 2) 映画会 ・フィルム選定 ・開催 3) 啓発看板設置 7. 小規模養鶏を奨励する 1) センター内に拠点を作る ・鶏舎改修 ・備品準備 ・養鶏開始 ・採卵 2) 村へ普及する ・ヒナ増産													旅費(村巡回) 物品購入(事務) 旅費(村巡回) 食料費(村巡回) 物品購入(事務) 物品購入(事務) 旅費(村巡回) 物品購入(村巡回) 工事費(工事) 資材費(農業) 人件費(農業) 旅費(村巡回)	2,000 2,000 10,000 2,500 2,500 5,000 70,000 35,000	2,000 2,000 10,000 2,500 2,500 5,000 70,000 35,000	円相当 円相当 円相当
												合計	円相当	円相当	円相当		

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
 2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第 / 四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	11. 4) 現地業務費管理 5) 機材引き取り 6) フロントライン計画機材申請 7) センター内施設改修 ・ オフィス周囲フェンス補修 ・ NURU調理場改修													旅費(業務調整)	5,000	5,000	
													物品購入(事務)	1,000	1,000		
													旅費(業務調整)				
													旅費(業務調整)	10,000	10,000		
													工事費(工事)				
													合計	457,000 円相当	457,000 円相当	50,000 円相当	

- 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
- 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第2四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費		
予 防 活 動 の 確 立 栄 養 失 調 見 の 回 復 促 進 活 動 の 充 実 と	1. 栄養失調児を早期発見す り健康データの収集 2. NURU収容児に適切な診断・ 治療・栄養指導を行う 1) 栄養バランス食の供給 2) 臨床検査準備・実施 3) 供給用作物栽培 ・雨季作 ・乾季作① ・乾季作② ・果樹管理 ・果樹改植 3. NURU退所見家庭の生活改 善を指導する 1) 入所見家庭背景調査 2) 退所見家庭フォローアップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	物品購入(事務) 旅費(村巡回)	20,000 60,000	10,000 30,000	10,000	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	食材費(NURU) 医療用品(NURU)	140,000 40,000	70,000 20,000	30,000
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	人件費(農業) 資材費(農業)	20,000 10,000	10,000 10,000	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	物品購入(事務) 旅費(村巡回)	5,000 40,000	2,500 20,000	5,000
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	合計	円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第2四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	3. 3) 営農援助 ・雨季一般作物の② ・乾季野菜の② 4) 大豆栽培を普及する ・採種栽培 ・栽培指導													資材費(農業)	10,000	10,000	5,000
													旅費(村巡回)	5,000	2,500		
													人件費(農業)	15,000	10,000		
	4. フィーディング・ポストを定着させる 1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する 2) 栄養改善委員の養成・再教育 3) 参加意欲増進対策・報償品贈与 4) 集会所建設・準備 ・着工												物品購入(事務)	5,000	2,500		
													旅費(村巡回)	50,000	25,000		
													食材費(村巡回)	50,000	25,000		
													物品購入(事務)	10,000	10,000		
													人件費(村巡回)	40,000	40,000		
													物品購入(村巡回)	20,000	10,000		
													旅費(村巡回)	3,000	3,000		
													建設費(集会所)				
	5. 寄生虫を駆除する 1) 検査会の開催 2) 駆除薬投与												旅費(村巡回)	20,000	20,000		
													旅費(村巡回)	10,000	10,000		
													物品購入(村巡回)	10,000	10,000		
													合計		円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第2四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	6. 健康・栄養教育、啓発活動を強化する。 1) 教育機会を確保する ① 健康デー一般教育 ② 予防接種日 離乳教育 ③ NURU 総合教育 ④ 小学校 衛生・家族計画教育 2) 映画会 ・フィルム選定 ・開催 3) 啓発看板設置 7. 小規模養鶏を奨励する 1) センター内に拠点を作る ・鶏舎改修 ・備品準備 ・養鶏開始 ・採卵 2) 村へ普及する ・ヒナ増産													旅費(村巡回)	4,000	2,000	
													物品購入(事務)	4,000	2,000		
													旅費(村巡回)	20,000	10,000		
													食材費(村巡回)	5,000	2,500		
													物品購入(事務)	5,000	2,500		
													物品購入(事務)				
													旅費(村巡回)	25,000	20,000		
													物品購入(村巡回)	10,000	10,000		
													工事費(工事)	70,000			
													資材費(農業)	35,000			
													人件費(農業)	8,000	8,000		
													旅費(村巡回)				
													合計	円相当	円相当		

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは令四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

国名(タンザニア) , プロジェクト名(ロンガ母子福祉センター) 拡充プロジェクト

年間目標	第2四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	8. デイクアセンター活動を活発にする 1) 遊具の充実 2) 給食用作物耕作指導													物品購入(村巡回)	10,000	10,000	
														資材費(農業)	2,500	2,500	
	9. 職員研修													研修費(研修)	60,000	30,000	
	10. 活動を評価する 1) 健康データの分析 2) 健康・栄養意識調査 3) プロジェクト成果発表会 ・準備 ・開催													物品購入(事務)	14,000	7,000	
														旅費(村巡回)			
														物品購入(事務)			
														研修費(研修)	10,000	10,000	
	11. 業務調整 1) 連絡調整 2) 各種報告 ・四半期報告 ・年度末報告 ・年間活動報告 ・会計報告 3) 次年度活動計画・申請													旅費(業務調整)	80,000	40,000	
														物品購入(事務)	5,000	2,500	
														旅費(業務調整)			
														物品購入(事務)			
														合計	円相当	円相当	

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

国名(タンザニア), プロジェクト名(ロンガ母子福祉センター
拡充プロジェクト)

NO. 2-5

年間目標	第2四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	11. 4) 現地業務費管理 5) 機材引き取り 6) フロントライン計画機材申請 7) センター内施設改修 ・ オフィス周囲フェンス補修 ・ NURU調理場改修													旅費(業務調整)	10,000	5,000	
													物品購入(事務)	2,000	1,000		
													旅費(業務調整)				
													旅費(業務調整)	30,000	20,000		
													工事費(工事)	700,000	700,000		
													合計	1,692,500 円相当	1,235,500 円相当	50,000 円相当	

- 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
- 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第3四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
予防活動の確立 回復促進活動の充実と	1. 栄養失調児を早期発見する 1) 健康データの収集 2. NURU收容児に適確な診断・治療・栄養指導を行う 1) 栄養バランス食の供給 2) 臨床検査準備・実施 3) 供給用作物栽培 ・雨季作 ・乾季作① ・乾季作② ・果樹管理 ・果樹改植 3. NURU退所見家庭の生活改善を指導する 1) 入所見家庭背景調査 2) 退所見家庭フォローアップ													物品購入(事務) 旅費(村巡回)	25,000 90,000	5,000 30,000	10,000
														食材費(NURU) 医療用品(NURU)	210,000 60,000	70,000 20,000	30,000
														人件費(農業) 資材費(農業)	30,000 10,000	10,000	
														物品購入(事務) 旅費(村巡回)	7,500 60,000	2,500 20,000	5,000
														合計	円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
 2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第3四半期協力活動計画	活動スケジュール											経費概算			相手国 負担予定		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費		今期経費	
	3. 営農援助 ・雨季一般作物の② ・乾季野菜の②													資材費(農業)	10,000			
														旅費(村巡回)	7,500	2,500		
	4) 大豆栽培を普及する ・採種栽培 ・栽培指導													人件費(農業)	15,000			
	4. フィーディング・ポストを定着させる 1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する													物品購入(事務)	7,500	2,500		
														旅費(村巡回)	75,000	25,000		
	2) 栄養改善委員の養成・再教育													食材費(村巡回)	80,000	30,000		
	3) 参加意欲増進対策・報償品贈与													物品購入(事務)	10,000			
	4) 集会所建設・準備 ・着工													人件費(村巡回)	40,000			
														物品購入(村巡回)	30,000	10,000		
														旅費(村巡回)	6,000	3,000		
														建設費(集会所)	3,000,000	3,000,000		
	5. 寄生虫を駆除する 1) 検査会の開催													旅費(村巡回)	20,000			
	2) 駆除薬投与													旅費(村巡回)	10,000			
														物品購入(村巡回)	10,000			
														合計		円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は-----で表示すること。

年間目標	第3四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費		
6. 健康・栄養教育、啓発活動を強化する。 1) 教育機会を確保する ① 健康デー 一般教育 ② 予防種接種 離乳教育 ③ NURU 総合教育 ④ 小学校 衛生・家族計画教育 2) 映画会 ・フィルム選定 ・南催 3) 啓発看板設置 7. 小規模養鶏を奨励する 1) センター内に拠点を作る ・鶏舎改修 ・備品準備 ・養鶏開始 ・採卵 2) 村へ普及する ・ヒナ増産																		
														旅費(村巡回)	6,000	2,000		
														物品購入(事務)	6,000	2,000		
														旅費(村巡回)	30,000	10,000		
														食材費(村巡回)	7,500	2,500		
														物品購入(事務)	7,500	2,500		
														物品購入(事務)	10,000	10,000		
														旅費(村巡回)	25,000			
														物品購入(村巡回)	20,000	10,000		
														工事費(工事)	70,000			
														資材費(農業)	35,000			
														人件費(農業)	14,000	6,000		
														旅費(村巡回)				
														合計		円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は-----で表示すること。

年間目標	第3四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	8. デイケアセンター活動を活発にする 1) 遊具の充実 2) 給食用作物耕作指導					-----								物品購入(村巡回)	10,000		
														資材費(農業)	2,500		
	9. 職員研修		---					-----						研修費(研修)	80,000	20,000	
	10. 活動を評価する 1) 健康データの分析 2) 健康・栄養意識調査 3) プロジェクト成果発表会 ・準備 ・開催			---					---					物品購入(事務)	21,000	7,000	
														旅費(村巡回)	10,000	10,000	
														物品購入(事務)	10,000	10,000	
														研修費(研修)	20,000	10,000	
	11. 業務調整 1) 連絡調整 2) 各種報告 ・四半期報告 ・年度末報告 ・年間活動報告 ・会計報告 3) 次年度活動計画・申請													旅費(業務調整)	100,000	20,000	
														物品購入(事務)	7,500	2,500	
														旅費(業務調整)	10,000	10,000	
														物品購入(事務)	5,000	5,000	
														合計	円相当	円相当	

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は-----で表示すること。

年間目標	第3四半期協力活動計画	活動スケジュール											経費概算			相手国 負担予定	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費		今期経費
	11. 4) 現地業務費管理 5) 機材引き取り 6) フロントライン計画機材申請 7) センター内施設改修 ・ オフィス周囲フェンス補修 ・ NURU調理場改修													旅費(業務調整)	15,000	5,000	
													物品購入(事務)	3,000	1,000		
													旅費(業務調整)				
													旅費(業務調整)	30,000			
													工事費(工事)	1,200,000	500,000		
													合計	5,568,500円相当	3,876,000円相当	50,000円相当	

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第4四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費			
予防活動の確立 回復促進活動の充実と	1. 栄養失調児を早期発見する 2. NURU収容児に適切な診断・治療・栄養指導を行う 3. NURU退所見家庭の生活改善を指導する	り健康データ収集												物品購入(事務)	30,000	5,000	10,000		
		り健康データ収集												旅費(村巡回)	120,000	30,000			
		1) 栄養バランス食の供給												食材費(NURU)	270,000	60,000	30,000		
		2) 臨床検査準備・実施												医療用品(NURU)	70,000	10,000			
		3) 供給用作物栽培												人件費(農業)	40,000	10,000			
		・雨季作 ・乾季作① ・乾季作② ・果樹管理 ・果樹改植												資材費(農業)	20,000	10,000			
		1) 入所見家庭背景調査												物品購入(事務)	10,000	2,500	5,000		
		2) 退所見家庭フォローアップ												旅費(村巡回)	80,000	20,000			
				合計													円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

年間目標	第4四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費		
	3. 学農援助 ・雨季一般作物の①,② ・乾季野菜の①,②													資材費(農業)	20,000	10,000		
														旅費(村巡回)	10,000	2,500		
	4) 大豆栽培を普及する ・採種栽培 ・栽培指導													人件費(農業)	25,000	10,000		
	4. フィーディング・ポストを定着させる													物品購入(事務)	10,000	2,500		
	1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する													旅費(村巡回)	90,000	20,000	5,000	
	2) 栄養改善委員の養成・再教育													食材費(村巡回)	115,000	35,000		
	3) 参加意欲増進対策・報償品贈与													物品購入(事務)	10,000			
	4) 集会所建設・準備 ・着工													人件費(村巡回)	40,000			
														物品購入(村巡回)	40,000	10,000		
														旅費(村巡回)	10,000	4,000		
														建設費(集会所)	6,778,000	3,778,000		
	5. 寄生虫を駆除する																	
	1) 検査会の開催													旅費(村巡回)	40,000	20,000		
	2) 駆除薬投与													旅費(村巡回)	20,000	10,000		
														物品購入(村巡回)	20,000	10,000		
														合計		円相当	円相当	円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

国名(タンザニア), プロジェクト名(ロンガ母子福祉センター 拡充プロジェクト)

年間目標	第4四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	6. 健康・栄養教育、啓発活動を強化する。 1) 教育機会を確保する ① 健康デー一般教育 ② 予防種接種 離乳教育 ③ NURU 総合教育 ④ 小学校 衛生・家族計画教育 2) 映画会 ・フィルム選定 ・開催 3) 啓発看板設置 7. 小規模養鶏を奨励する 1) センター内に拠点を作る ・鶏舎改修 ・備品準備 ・養鶏開始 ・採卵 2) 村へ普及する ・ヒナ増産												旅費(村巡回)	8,000	2,000		
														物品購入(事務)	8,000	2,000	
													旅費(村巡回)	40,000	10,000		
													食料費(村巡回)	10,000	2,500		
													物品購入(事務)	10,000	2,500		
													物品購入(事務)	10,000			
													旅費(村巡回)	25,000			
													物品購入(村巡回)	20,000			
													工事費(工事)	70,000			
													資材費(農業)	25,000			
													人件費(農業)	20,000	6,000		
													旅費(村巡回)	10,000	10,000		
													合計		円相当		

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。
 2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は-----で表示すること。

国名(タンザニア), プロジェクト名(イロンガ母子福祉センター) 拡充プロジェクト

NO. 4-4

年間目標	第4四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	8. デイケアセンター活動を活発にする 1) 遊具の充実 2) 給食用作物耕作指導													物品購入(村巡回)	10,000		
														資材費(農業)	5,000	2,500	
	9. 職員研修													研修費(研修)	80,000		
	10. 活動を評価する 1) 健康データの分析 2) 健康・栄養意識調査 3) プロジェクト成果発表会 ・準備 ・開催													物品購入(集務)	28,000	7,000	
														旅費(村巡回)	10,000		
														物品購入(事務)	10,000		
														研修費(研修)	100,000	80,000	
	11. 業務調整 1) 連絡調整 2) 各種報告 ・四半期報告 ・年度末報告 ・年間活動報告 ・会計報告 3) 次年度活動計画・申請													旅費(業務調整)	140,000	40,000	
														物品購入(事務)	10,000	2,500	
														旅費(業務調整)	10,000		
														物品購入(事務)	5,000		
														合計		円相当	
																円相当	
																円相当	

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は----で表示すること。

国名(タンザニア), プロジェクト名(ロンガ母子福祉センター) 拡充プロジェクト

NO. 4-5

年間目標	第4四半期協力活動計画	活動スケジュール												経費概算			相手国 負担予定
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	項目	通算経費	今期経費	
	11. 4) 現地業務費管理 5) 機材引き取り 6) フロントライン計画機材申請 7) センター内施設改修 ・オフィス周囲フェンス補修 ・NURU調理場改修													旅費(業務調整)	20,000	5,000	
														物品購入(事務)	4,000	1,000	
														旅費(業務調整)	40,000	40,000	
														旅費(業務調整)	30,000		
														工事費(工事)	1,200,000		
														合計	9,836,000円相当	426,500円相当	50,000円相当

1. 「チーム派遣プロジェクト活動実績概要」の対応策との関連についても述べること。

2. 活動スケジュールは今四半期分を——で、他四半期にまたがる部分は---で表示すること。

チーム派遣プロジェクト活動実績概要 (平成7年度第2四半期)

国名(タンザニア), プロジェクト名(イロンガ母子福祉センター 拡充プロジェクト)

様式 2
NO. 1

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>1. 栄養失調児を早期発見する。</p> <p>1) 9月の健康デーにおいてデータ収集</p> <p>2) 健康デーの運営をスムーズに行う。</p> <p>2. NURU 収容児に適切な診断治療、栄養指導を行う。</p> <p>3) 供給用作物栽培。 ・雨期作 ・乾期作</p> <p>3. NURU 区所見家庭の生活改善を指導する。</p> <p>1) 入所時背景調査。</p>	<p>・14ヶ所、1497名の体重データを収集</p> <p>・各児のMCHカードに16.を付け、個人成長と追えるようにした。</p> <p>・ウジ作りを確立。 長時間待、でも空腹で帰る:とがなくなる。</p> <p>・寒冷紗の導入。 日陰ができ、順番待ちが楽になる。</p> <p>・入所見数: 15名。 (マウスムス: 6 クワニコル: 7 マウス・クワニ: 2)</p> <p>・退所見数: 10名。</p> <p>・死亡見数: 4名。</p> <p>・NURU スタッフ間の情報交換、患者の状況把握のため、週1回のミーティングを開始</p> <p>・トリスコシ 200kg, レゲン 20kg 収穫</p> <p>・トリス、アマランガス 植付け。</p> <p>・圃場周囲のフェンス修理開始。</p> <p>・15名全員にインタビュー実施。</p>	<p>・火器を鋸でクリニックに提供。</p> <p>・スタッフに意図がうまく伝えられなかった。</p> <p>・バロニ食の材料として提供。</p> <p>・耐用年数を伸ばすよう、防蟻対策を施す。</p> <p>・記入フォームの内容が、スタッフに理解できておらず、ナースにより記入の仕方が異なる。</p>	<p>・健康デー参加数が減少している。</p> <p>・母親たちが、食料薪、水等で持参するよう、ナースが呼びかけている。</p> <p>・隊員がいないと集まらない。</p>	<p>・参加を促す対策。</p> <p>・月初めに4週分の議題とリーダーを決めておく。又、各回毎に議事録をとる。</p> <p>・雨期作開始前に終了予定。</p> <p>・スタッフミーティングで統一を図る。</p>

協力活動概要	成果	問題点		評価	対応策
		協力隊側	相手国側		
<p>3. 2) 区所見家庭フォローアップ</p> <p>3) 学農援助 乾期野菜</p> <p>4) 大豆栽培を普及する。 採種栽培</p>	<p>映画会の開催、車両の整備、隊員の体調不良などのため、実施できず。</p> <p>- 対象22戸中、耕作継続戸数9戸 -</p> <p>- 50kgの種子を収穫 次期雨期作用の採種普及用に振り分け。</p>	<p>- 隊員が体調不良であったため、スタッフのみで実施しても良かったが、C/Pのナーズは稼働を上げてみる、1人オーバータイムをこなしては動いてくれない状態。</p> <p>- 各家庭に10リットル以上の水がバラバラなため、栽培を断念してと巡回は継続にゆく必要あり。</p> <p>- 大雨期作用の普及活動を開始できず。</p>	<p>- 家庭の事情(病気、旅行等)で中断したり再南(2)と、継続が伴って来ない。</p> <p>- 一部家庭では、収穫も始まり、食料用、販売用に利用されている。</p>	<p>- 村での仕事やC/P、MCHナース+健康管理委員などから探す。</p> <p>- 採種栽培の継続。</p>	
<p>4. フーディングポストを定着させる。</p> <p>1) 栄養バランス食の供給範囲を拡大する。</p> <p>・ビーナツの使用を止め、小魚と豆、トウモロコシを配合。</p> <p>・価格の引き上げ 150シロから200シロ/500g 2月、トウモロコシ322から422へ。</p> <p>2) 栄養改善委員の養成、再教育。</p> <p>・栄養改善委員の配置換え。</p>	<p>・10ニガ村にフーディングポストを新設。</p> <p>・8地域に201袋供給。</p> <p>・経費の削減が図れる。</p> <p>・10ニガ村フーディングポストを担当する、栄養改善委員1名を養成。</p> <p>・母親のワーカーに対する信頼感が強まる。</p>	<p>・赤字がなくなった。</p> <p>・やる気のある者が、理解が速い。</p> <p>・再教育が必要。</p>	<p>・対象児6名中、2名しか参加していない。</p> <p>・ビーナツの使用を止めると小魚の臭いが毎に評判が悪くない。</p> <p>・村の役員、母親たちが、フーディングポスト活動に対し、積極的にならず。</p>	<p>・定着がまだ、フォローアップ中。</p> <p>・ビーナツの使用を再開するが、最少限にとどめる。</p> <p>・他地域での活動状況を見せる。 ・スタッフを校討。</p>	

協力活動概要	成果	問題点		評価	対応策
		協力隊側	相手国側		
4. 3) 参加意欲増進対策 ・9月健康デーにおいて、71-デング ポストでの体重回復見 20名を 表彰 4) 集会所建設	・予算縮小により内容変更し、再見積	・予算変更により、 ^当 当初計画より 大幅に遅れている。	・母親たちが71-デングポスト並 動に積極的になつてくる。	・予算面の向題解決後、早急に 村との話し合いを始める。	
5. 6. 健康・栄養教育、啓発活動に強 化する。 1) 教育機会を確保す。 ① 健康デー一般教育	・家族計画に7〜2 ・母親に講師に任せておいてもらう。 ・家族計画に7〜2は、母親の関心が高 いが、「父親が嫌がる」、「理解が得られな い」との声がある。 ・母親は、注射避妊薬を望む傾向が 強い。	・1ヶ月半の準備期間をとったため、 視覚教材を有効に使用できた。	・話すことには慣れていない母親 が多かった。 ・身近な者、自分たちと同じ層が 話をするので、母親の理解と よく、効果的であった。 ・MVUMI MCHでは、注射避妊 薬を使える医師がいない。	・話をする母親とだけ、事前の打ち合わせが 必要。 ・父親を対象とした家族計画指導 ・MCHスタッフの講習。	
③ NURU 総合教育 重点項目: 栄養のつち 家族計画	・毎週1つのテーマを決め実施。 ・母親たちには、一週間で同じテーマを続け ることで、理解度が高まった。	・栄養スタッフとの話し合いが充分 でなく、初期はテーマが重なり うすいかなった。	・毎日は実施できていない。	・栄養士、ナース、医師相互の話し合いを 十分にし、各人の担当項目と、担当国を 決める。	
⑤ 71-デングポストでの教育 4ヶ所	・対象が少ないうで、一人一人の状況に合った 内容で、実演教育が行えた。	・視覚教材を使用したことで、母親 たちの理解を深めた。 ・71-デングポスト、MCHスタッフとの連携が とれず、隊員が実施した。	・ミニシアターなどを実際にとり 入れ実施することが難い。	・指導したことで、母親が実施でき るようなミニシアターを模試。	

協力活動概要	成果	問題点・評価		対応策
		協力隊側	相手国側	
<p>6. 4) 映画会 7月7日~31日約3週間にかたり、16ヶ所で開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家族計画に関するフィルムを3本上映。 "A Small Family" "Family Life Education" "Mother & Child Health" 各地で200~300人の観衆。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオプロジェクターを使用したため、ソフト調整には問題なかった。 スタッフの夜間勤務に対する手当と支給。 	<ul style="list-style-type: none"> 手当支給を決まらね、スタッフに積極性が見えなかった。 フィルム交換時間を利用して参加者への内容理解を深めたので詳しく説明。 人集めのために、教育映画に社5. ミュージックビデオを流したため、観衆が集まらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 人集めのソフトを再検討。
<p>7. 小規模養鶏を奨励す。 セナー内の幼鶏飼育。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月5日より雌雄混合10羽を飼育、7月4日7プログラムも並行終了 普及用幼鶏を飼育開始したため、8月末に一旦飼育鶏を処分、9月より新たに雌雄10羽ずつの飼育開始。 幼鶏配布対象となる1ヶ月児の数を出生レジスターより調査。5ヶ村全体で、月平均67人が出生。 	<ul style="list-style-type: none"> 未経験であったが、問題なく順調に飼育できるようになった。 セナーの購入先の Seating 技術。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月も日を重ねるにつれて業務は慣れつつある。土日の給餌にも協力的である。 9月以外のスタッフも養鶏に関心が高く、鶏舎にすぐ来て、産卵を投げかけてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> セナー購入先の変更。
<p>8. テクニクセンター活動に活用。 1) 遊具の充て。 2) 給食用作物耕作指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各DCCにも菜園、調理場、トイレ整備。 黒板、フロン、ポスター等の教材を提供。 各DCCに巡回し、助言、種子を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月ミーティングで話し合いの時間を掛けたが、一区整備できた。 		<ul style="list-style-type: none"> 今後毎月1回の会合を続ける。
9.				

チーム派遣プロジェクト活動実績概要 (平成7年度第2四半期)

国名(タンザニア), プロジェクト名()

様式 2

NO. 5

協力活動概要	成 果	問 題 点 ・ 評 価		対 応 策
		協 力 隊 側	相 手 国 側	
<p>10. 活動を評価する。 1) 健康データの分析(9月)</p> <p>11. 業務調整。 6) 7口外ライン計画準備。</p>	<p>標準体重 80%以上 : 51.3% 80%未満60%以上 : 44.6% 60%未満 : 4.1%</p> <p>平成7年度申請分の機材を選定。</p>	<p>前年度分は不明。</p>	<p>前年度申請分は不明存の で、非協力的。</p>	
